

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成23年11月 ～

この「財政状況の公表」は、皆さんに、広域連合のお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を知っていただくため、5月に下半期分(前年10月1日から3月31日まで)の財政状況及び当該年度の当初予算、11月に上半期分(4月1日から9月30日まで)の財政状況及び前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回の財政状況の公表は、平成23年度上半期(平成23年4月1日から9月30日まで)の6か月間の予算の執行や財産の状況及び平成22年度の決算状況についての公表となります。

また、各項目の最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成23年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下において説明する広域連合の財政状況については、平成23年9月30日現在の状況を記載しています。

1 平成23年度上半期の補正予算の概要

上半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

平成23年9月30日までに一般会計予算の補正はありませんでした。

(2) 後期高齢者医療特別会計

・第1号補正(8月) ※専決処分

平成22年度後期高齢者医療交付金が確定し、交付済額が超過となったため、社会保険診療報酬支払基金への返還金(771,537千円)を歳出予算に計上し、その財源として給付準備基金繰入金を増額しました。

●上半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算		予算現額
分担金及び負担金	771,779		771,779
国庫支出金	6,394		6,394
県支出金	6,394		6,394
財産収入	1,437		1,437
寄附金	1		1
繰入金	200,000		200,000
繰越金	1		1
諸収入	799		799
合 計	986,805		986,805

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	予備費充用	予算現額
議会費	1,905		1,905
総務費	292,474		292,474
民生費	687,263		687,263
公債費	163		163
予備費	5,000		5,000
合 計	986,805	0	986,805

●上半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (8月) ※専決処分		予算現額
市町支出金	54,120,200			54,120,200
国庫支出金	114,994,129			114,994,129
県支出金	28,357,133			28,357,133
支払基金交付金	149,180,790			149,180,790
特別高額医療費共同事業交付金	41,074			41,074
財産収入	3,263			3,263
寄附金	1			1
繰入金	4,910,969	771,537		5,682,506
繰越金	1			1
県財政安定化基金借入金	1			1
諸収入	240,193			240,193
合 計	351,847,754	771,537		352,619,291

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (8月) ※専決処分	予備費充用	予算現額
総務費	689,230			689,230
保険給付費	350,493,500			350,493,500
県財政安定化基金拠出金	308,587			308,587
特別高額医療費共同事業拠出金	53,806			53,806
保健事業費	226,905			226,905
基金積立金	3,264			3,264
公債費	3,247			3,247
諸支出金	44,215	771,537		815,752
予備費	25,000			25,000
合 計	351,847,754	771,537	0	352,619,291

2 平成23年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況(平成23年9月30日現在)

(歳入)

(単位:千円)

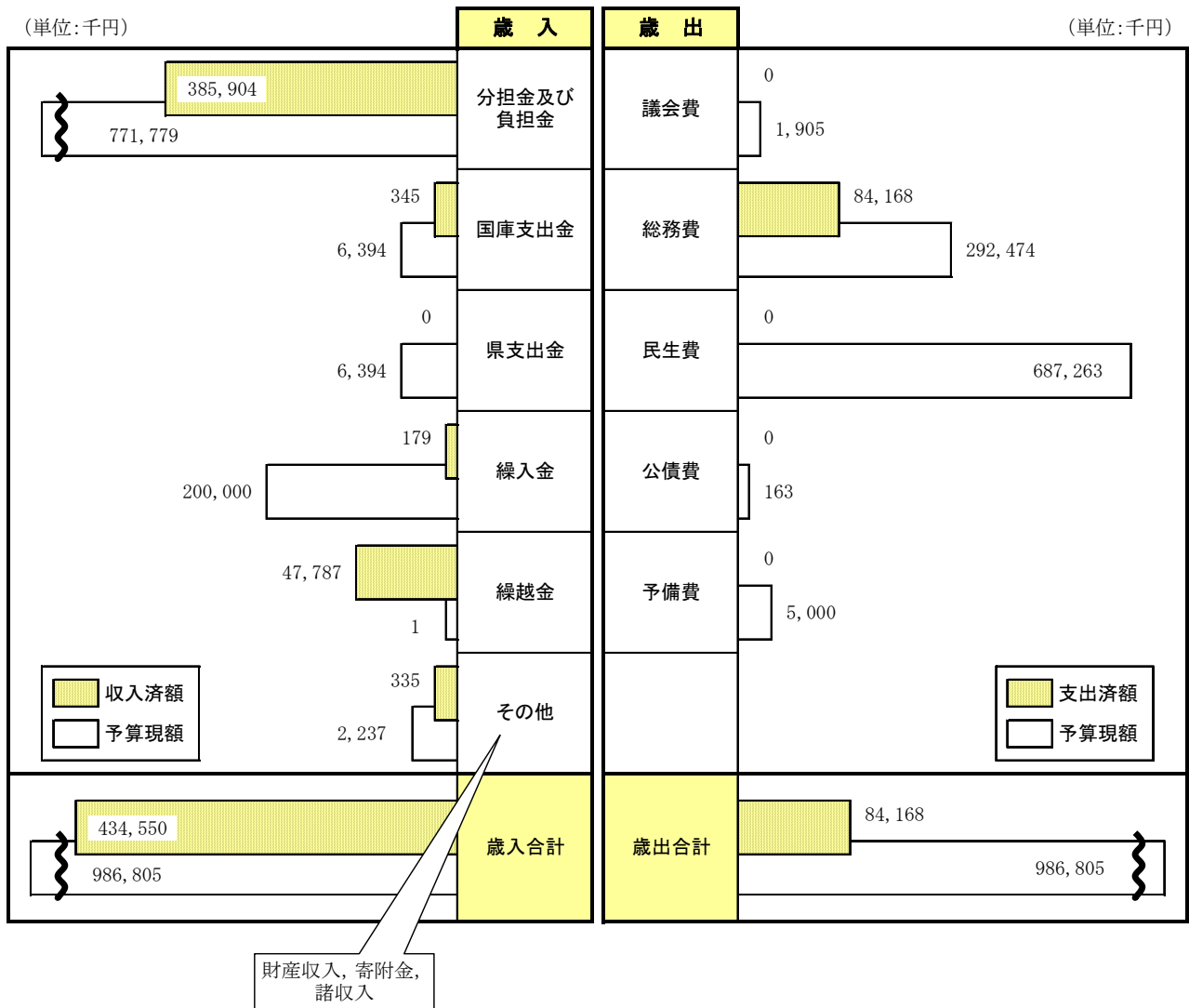
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	771,779	385,904	50.0%
国庫支出金	6,394	345	5.4%
県支出金	6,394	0	0.0%
財産収入	1,437	8	0.6%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	200,000	179	0.1%
繰越金	1	47,787	4,778,700.0%
諸収入	799	327	40.9%
合 計	986,805	434,550	44.0%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,905	0	0.0%
総務費	292,474	84,168	28.8%
民生費	687,263	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	986,805	84,168	8.5%

グラフ「平成23年度一般会計予算の執行状況（平成23年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況(平成23年9月30日現在)

(歳入)

(単位:千円)

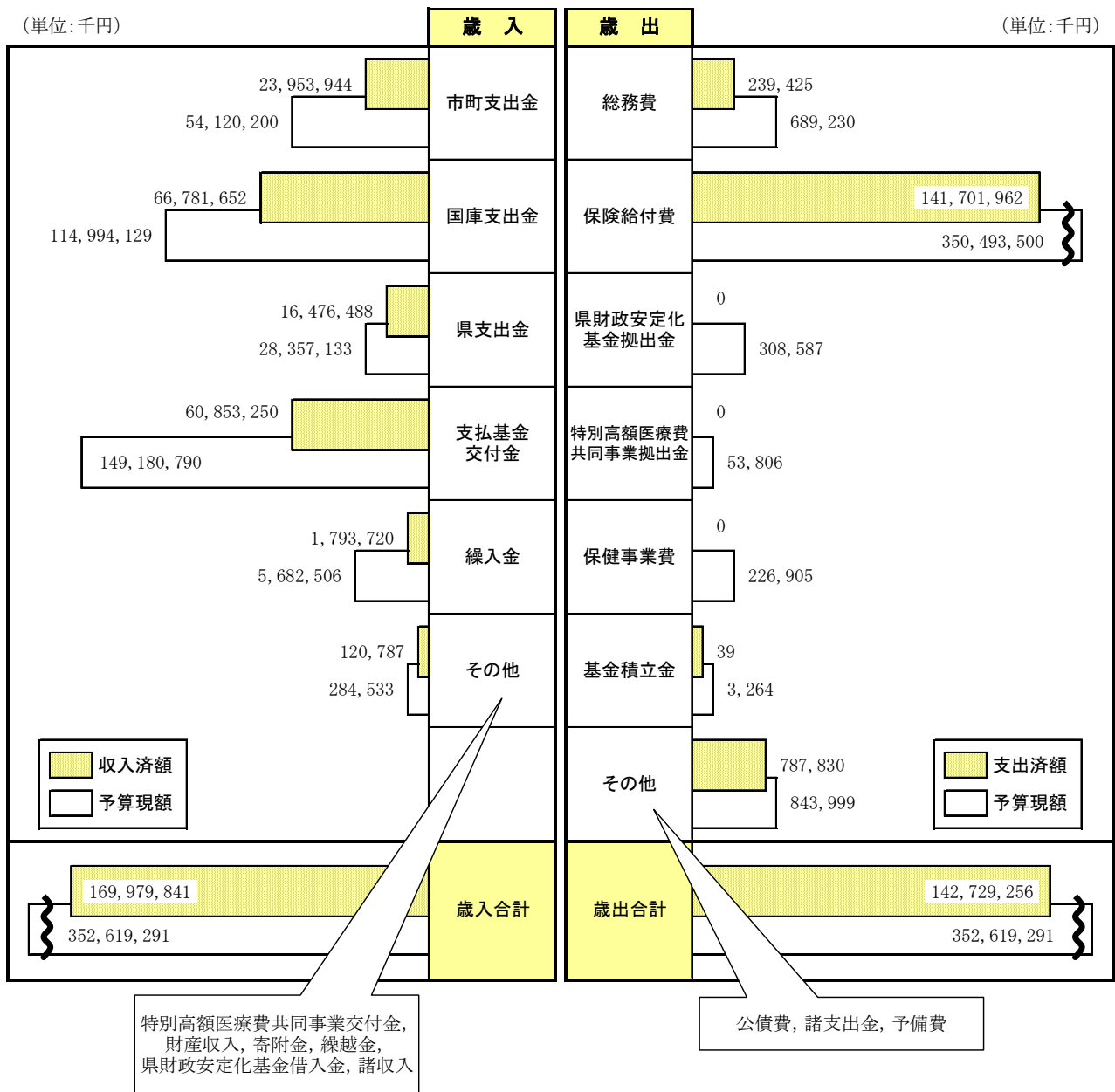
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	54,120,200	23,953,944	44.3%
国庫支出金	114,994,129	66,781,652	58.1%
県支出金	28,357,133	16,476,488	58.1%
支払基金交付金	149,180,790	60,853,250	40.8%
特別高額医療費 共同事業交付金	41,074	0	0.0%
財産収入	3,263	82	2.5%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	5,682,506	1,793,720	31.6%
繰越金	1	1,109	110,900.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	240,193	119,596	49.8%
合 計	352,619,291	169,979,841	48.2%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	689,230	239,425	34.7%
保険給付費	350,493,500	141,701,962	40.4%
県財政安定化 基金拠出金	308,587	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	53,806	0	0.0%
保健事業費	226,905	0	0.0%
基金積立金	3,264	39	1.2%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	815,752	787,830	96.6%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	352,619,291	142,729,256	40.5%

グラフ「平成23年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成23年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。

財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。

平成23年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【 物 品 】

区 分	数 量	摘 要
物 品	4	高速印刷機1台, 財務会計システム1式, 広域連合システムDBサーバ関連機器1式, 広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【 基 金 】

名 称	区 分	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	債 権	0	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
	現 金	422,226,797	
	合 計	422,226,797	
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	債 権	0	被用者保険の被扶養者であった被保険者の保険料激変緩和措置等の財源補てんのための基金
	現 金	629,368,463	
	合 計	629,368,463	
後期高齢者医療給付 準備基金	債 権	0	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金
	現 金	3,270,847,677	
	合 計	3,270,847,677	

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための年度内の短期借入金です。

平成23年4月1日から9月30日までの間に、一時借入金の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するために認められているものです。

平成23年9月30日現在において、地方債の借入れはありません。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の国庫負担金
県支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の県負担金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	広域連合に対する寄附金
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	医療費に対する寄附金
繰入金	一般会計，臨時特例基金，給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費，高額療養費，葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費（国・県・広域連合の負担率各1/3）
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し，特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金，給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため，借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金，県負担金，市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成22年度広域連合の決算の状況

1 平成22年度の事業

平成22年度、広域連合では平成21年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成22年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金(582,757 千円)、派遣職員の給料等負担金(224,812 千円)、将来の財政負担に備える財政調整基金への積立金(100,053 千円)、不均一賦課の実施に伴う保険料軽減相当分の特別会計への繰出金(12,165 千円)等となっています。

●平成22年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費(326,696,859 千円)、保険料の軽減等に充てるための臨時特例基金への積立金(1,743,253 千円)、将来の保険給付費の増大に備えるための給付準備基金への積立金(895,276 千円)、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業(184,600 千円)、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品の周知等の医療費適正化事業(147,562 千円)、レセプトの資格確認等の事務代行業務委託料(176,310 千円)等となっています。

2 平成22年度一般会計の決算状況

歳入決算額 10億1,221万1,694円
 歳出決算額 9億6,424万4,407円 歳入歳出差引額 4,778万7,287円

この差引額は、平成22年度の剰余金として平成23年度に繰り越し、一部を国庫補助金の返還金の財源に充て、残りを財政調整基金へ積み立てます。

(1) 歳入の状況

平成22年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の84.1%を占め、次いで前年度からの繰越金が9.9%、繰入金が4.7%となっています。

前年度と比較すると、合計で△113,053千円(△10.0%)の減となっておりますが、これは主に、構成市町負担金が△850,810千円(△11.9%)、繰越金が△40,132千円(△28.6%)減額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	850,810	850,810	100.0%	84.1%	965,650	△114,840	△11.9%
国庫支出金	6,754	6,386	94.6%	0.6%	8,897	△2,511	△28.2%
県支出金	6,451	6,083	94.3%	0.6%	9,028	△2,945	△32.6%
財産収入	839	840	100.1%	0.1%	409	431	105.4%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	66,293	47,225	71.2%	4.7%	0	47,225	皆増
繰越金	100,053	100,053	100.0%	9.9%	140,185	△40,132	△28.6%
諸収入	944	815	86.3%	0.1%	1,096	△281	△25.6%
合計	1,032,145	1,012,212	98.1%	100.0%	1,125,265	△113,053	△10.0%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成22年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が61.7%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の38.2%となっています。

前年度と比較すると、総務費の派遣職員給料等負担金や財政調整基金の積立金の減額による、総務費の△48,828千円(△11.7%)の減を中心に、合計で△60,788千円(△5.9%)の減となりました。

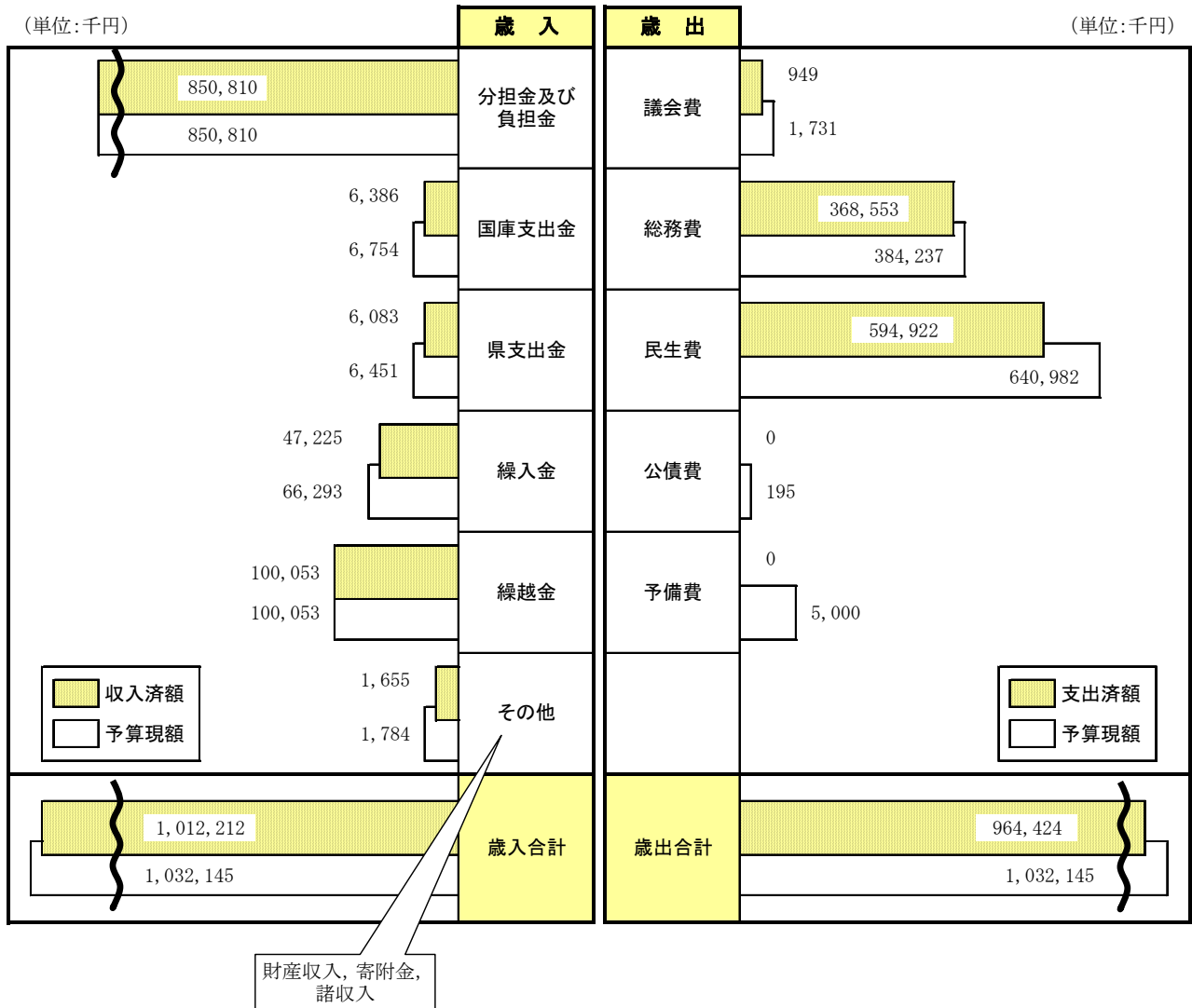
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,731	949	54.8%	0.1%	1,104	△155	△14.0%
総務費	384,237	368,553	95.9%	38.2%	417,381	△48,828	△11.7%
民生費	640,982	594,922	92.8%	61.7%	606,727	△11,805	△1.9%
公債費	195	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	1,032,145	964,424	93.4%	100.0%	1,025,212	△60,788	△5.9%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成22年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 平成22年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額 3,347億4,570万1,652円
 歳出決算額 3,347億4,368万3,307円 歳入歳出差引額 201万8,345円

↓

歳入歳出差引額のうち事故繰越額	90万9,258円
実質収支額(歳入歳出差引額－事故繰越額)	110万9,087円

実質収支額は、平成22年度の剰余金として平成23年度に繰り越し、精算に伴って超過交付となった平成22年度交付分の国庫負担金、県負担金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成22年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の41.7%を占め、次いで国庫支出金が32.6%、市町支出金が15.5%、県支出金が7.9%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	53,429,019	51,841,972	97.0%	15.5%	49,166,205	2,675,767	5.4%
国庫支出金	111,024,376	109,224,508	98.4%	32.6%	107,738,781	1,485,727	1.4%
県支出金	26,944,494	26,516,054	98.4%	7.9%	25,406,814	1,109,240	4.4%
支払基金交付金	144,038,979	139,663,421	97.0%	41.7%	134,690,308	4,973,113	3.7%
特別高額医療費 共同事業交付金	59,600	61,348	102.9%	0.0%	35,265	26,083	74.0%
財産収入	3,282	3,281	100.0%	0.0%	4,022	△741	△18.4%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	4,107,819	2,553,027	62.2%	0.8%	2,230,172	322,855	14.5%
繰越金	4,567,217	4,567,217	100.0%	1.4%	1,879,373	2,687,844	143.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	270,338	314,874	116.5%	0.1%	262,317	52,557	20.0%
合計	344,445,126	334,745,702	97.2%	100.0%	321,413,257	13,332,445	4.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成22年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の 97.6%と歳出総額のほとんどを占め、次いで前年度に過大に交付された国庫負担金返還金等の諸支出金が 1.3%となっています。

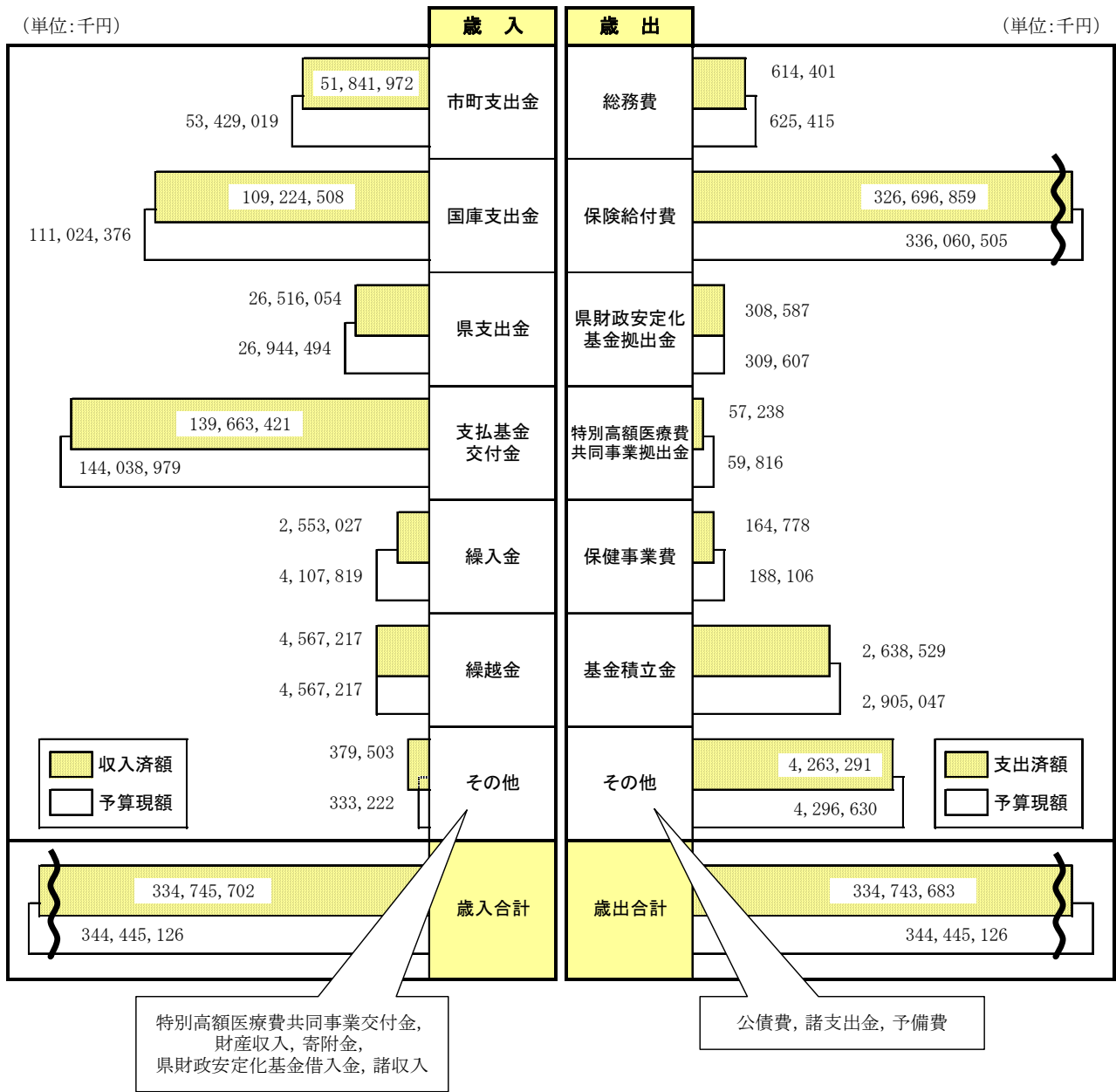
(歳 出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	625,415	614,401	98.2%	0.2%	715,184	△100,783	△14.1%
保険給付費	336,060,505	326,696,859	97.2%	97.6%	308,933,935	17,762,924	5.7%
県財政安定化 基金拠出金	309,607	308,587	99.7%	0.1%	268,869	39,718	14.8%
特別高額医療費 共同事業拠出金	59,816	57,238	95.7%	0.0%	51,315	5,923	11.5%
保健事業費	188,106	164,778	87.6%	0.0%	48,786	115,992	237.8%
基金積立金	2,905,047	2,638,529	90.8%	0.8%	2,991,999	△353,470	△11.8%
公債費	3,904	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	4,267,726	4,263,291	99.9%	1.3%	3,835,952	427,339	11.1%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	344,445,126	334,743,683	97.2%	100.0%	316,846,040	17,897,643	5.6%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

(3) 事故繰越額

事故繰越額は、90 万 9,258 円でシステム関連機器の購入に際して、契約締結後に東北地方太平洋沖震災が発生して製造工場が被災したため、年度内の納品ができなかったことにより事業費を翌年度に繰り越したものです。

なお、繰り越した後、平成23年4月に事業は完了しました。